

(別紙4(2))  
目標達成計画

事業所名 グループホームわかば  
作成日：令和5年2月1日

目標達成は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順	項目番	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	64	家族の面会や地域とのかかわりがコロナ過にため著しく減少している。	コロナ過でも家族や地域住民との交流ができるよう工夫する	感染対策を最優先することが大前提であるが、リモート面会や、動画撮影などIT機器を利用し生活の様子を家族に伝える。施設新聞などを作成し、地域住民に配り、施設の現状を知ってもらう。	6か月
2	59	コロナ過のため、利用者のレクや趣味活動の制限が多くみられたため、コロナ前より生き生きとした表情はみられていない傾向がある。	コロナ過でもできるレクや趣味活動を行うことで、利用者が充実した生活を行うことができる。	・コロナ過でもできるレクや趣味活動のアイデアを出す。 ・利用者にアンケートを取る。 ・機材や物品の購入。レク趣味活動を行う上での感染症対策の徹底。	6か月
3	66	コロナ過のため、介護職員が今までになく疲れしている。(体力的にも、精神的にも)	コロナ過での職員への支援体制を明文化し、経営陣がバックアップすることで、現場職員が生き生きと働くことができる。	・コロナ過での職員への支援体制のマニュアル作成(感染濃厚接触時の休みは何日か、給与はなど) ・理事長と職員が直接面接をし、希望や要望などを聞き取る	3か月
4					
5					